
私がアフターファイブについて思うこと

猫凹

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私がアフターファイブについて思うこと

【Nコード】

N9430Y

【作者名】

猫凹

【あらすじ】

仕事は精一杯頑張りたい。でも、人間関係は苦手。え？アフターファイブ？あ、あの……さしつかえなければ、不参加で……。 (2ちゃんねるの創作発表板「小説家になろう」で企画競作するスレPart3 (<http://yuzuru.2ch.net/thread/read.cgi/mitemite/1319658024/150>)での企画参加作品)

私はアフターファイブというやつが苦手だ。

まずアルコールが飲めない。人前で歌うなんて恥ずかしいこと、絶対に無理。普段は礼儀正しい人たちが、顔を赤くして、なれなれしい態度で言い寄ってくる。かと思えば、人が傷つくようなことを平気で言う。あげくには、大声を上げて言い合ったり、ひどいときには殴り合いの喧嘩まで。

お酒は人間関係の潤滑油。本音を言い合う場も必要。酒が入れば、そいつの本当の人間性が分かる。

馬鹿じゃなかるうか。

本性を理性で抑えてこそその人間じゃないか。本音をやさしく包む思いやりこそが、潤滑油じゃないか。酔っぱらった異常状態が、しらふの時のその人よりも「本当」だなんて、どう考えたっておかしい。

でも、内向的で臆病な性格の私が、そんな主張を声高に叫ぶことができるはずもない。

大学の時は、どうしても断れない場合だけ、嫌々ながら付き合っていた。それを隠さないでいたら、そのうち誘いもかからなくなつた。灰色の学生生活。

今の会社は気に入っている。資格を活かせる仕事内容、通勤は一時間以内、残業は少ない。上司や先輩、同僚にはいろいろな性格の

人がいるけど、どうしても合わない、というほどの人はいない。要領が悪く電話の受け答え一つにもなかなか慣れない、グズで根暗な私を、邪険にせず受け入れてくれている。正直、めぐまれていると思う。

この職場では、うまくやっていきたい。仕事中は私なりに一所懸命に愛想を振りまきつつ、アフターファイブのお誘いは、できるかぎりやんわりと断り続けてきた。今日までは。

課長のお声がかり。

とても断れる空気ではなかった。入社以来初めての飲み会に、とうとう連れて来られてしまった。

*

か、かんぱい……あ、あの、私、ウーロン茶で……。

え、注文？……ごめんなさい、私、こういところの料理あんまり分からなくて……。

て、店員さん！ だめだ、聞こえないや……。

課長に注ぎに行った方がいいのかな……でも他の子と話してるし……。

え、あ、はい。食べてます。た、たのしいです。

お腹冷えてきた……ちょ、ちょっとお化粧直してきます！

まだ三十分しか経ってないんだ……。

はあ……戻りたくない……。

……うつうつ、私の席に他の人が座ってる……。

お、お隣失礼します……。

これ、ウーロン茶だよね……。

……ぶほッ！

て~~~~め~~~~え~~~~ら~~~~っ!~~~~!!

*

うつうつ……頭が痛い……。電車の揺れがきつかったよ……。

朝気付いたら、部屋のベッドで着替えもせずに寝ていた。

眠る前のこと、何も覚えてない。変なことされてないといいんだ
けど……。

おはよー。……え？ なんで敬語なの？

先輩、おはようございます。……あれ？メガネ違いますね。…
…な、何か怒ってませんか？

おはようございます係長。ひっ！……目の周りの青あざ、どうし
たんですか？なんで逃げるんですか？

課長、お茶を……あれ？課長ってカツラだったんですか？な
んか頭にすごい手形が……。痛くないですか？

あれ？あれ？私の机、なんでこんな隅っこに……いじめです
か？うつつ……。

*

昨日まであんなに和気藹々としていた職場が、なんというこ
とでしようビフォー・アフター。今日は殺気すら感じられそうなほどの
ギスギスした空気に包まれている。

私はそれを避け、事務所の隅の辺境地帯にひきこもりながら、
人寂しくキーボードをたたく。

私はアフターファイブが嫌いだ。

(後書き)

ほんと苦手でorz

2ちゃんねる創作発表板「『小説家になろう』で企画競作するスレ」ではいつでも参加者を募集中！

まったり雑談から、辛口な批評のやりとりまで何でもあり。お話を書くのは初めてという方でも大歓迎！ ぜひ一度、お気軽に、覗いてみてください！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9430y/>

私がアフターファイブについて思うこと

2011年11月28日02時54分発行